

17-03-29

2017 年度 設備投資計画

～鉄道事業を中心に総額 19,110 百万円～

<主な投資項目>

- ① ホームの安全対策など旅客安全・運転保安工事の推進・継続
- ② 通勤型車両計 14 両(5 編成)新造
- ③ 中部国際空港セントレアホテルの新棟建設

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画～PLAN123～」(2015 年度～2017 年度)に基づき、同計画の基本方針である『「積極的な事業展開」と「強固な経営基盤の確立」』などの実現に向け、2017 年度設備投資計画をまとめました。

来年度の主な投資として、鉄道事業については、旅客安全・運転保安工事およびサービス改善工事に 118 億円、開発事業では、当社沿線地域における不動産開発や、既存の保有施設の改修などに 58 億円、その他においては、IT 機器・システムの更新などに 14 億円の設備投資を行います。

鉄道事業 [11,838 百万円]

鉄道事業では、①ホームの安全対策や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に 7,290 百万円、②通勤型車両(計 14 両 5 編成)の新造、一部特別車特急車両 1200 系のリニューアルや駅改良などサービス改善工事に 4,547 百万円の計 11,838 百万円を投資します。

1 旅客安全・運転保安工事(7,290 百万円)

(1) ホームの安全対策

- 視覚障害のあるお客さまのホーム転落防止対策として、内方線付き点状ブロックの整備を進め、1日あたりの平均利用者数1万人以上の全駅で整備を完了します。



内方線付き点状ブロック

- ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる危急知らせ灯と ATS を河和線の南加木屋駅、巽ヶ丘駅、阿久比駅、住吉町駅、青山駅、知多武豊駅などに設置します。

(2) 高架化

- 安全対策の推進と都市計画事業の一環として、3カ所で高架化工事を実施します。



知立駅付近高架化工事

	路線名	区間	距離	除却踏切数
知立駅付近高架化工事	名古屋本線 三河線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km	2箇所
		重原駅～三河八橋駅間	3.4km	8箇所
喜多山駅付近高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km	8箇所
布袋駅付近高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.8km	6箇所

(3) 踏切道保安設備の新設・更新

- 踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置の設置(5カ所)、踏切遮断機の更新(164台)などを行います。



踏切障害物検知装置

(4) 耐震補強の推進

- 大規模地震による被害を最小限に抑えるため、高架橋柱などの耐震補強を刈谷高架橋、日進車庫跨線橋などで実施します。



高架橋における耐震補強

(5) 土木施設の改良

- 列車の乗り心地を向上するため、瀬戸線において、まくらぎの PC 化を実施するほか、列車走行音や振動を軽減するため、名古屋本線 美合駅～藤川駅間でロングレール化工事を実施します。

(6) 電気施設の改良

- 安定した電力供給を図るため、有松変電所、新一宮変電所、福地変電所、野間変電所など沿線各所で電力設備を更新するほか、き電線の増強・改良などを実施します。

2 サービス改善工事(4,547 百万円)

(1) 車両の新造

- 通勤型車両として 3300 系の車両を 8 両(4 両組成×2 編成)、3150 系の車両を 6 両(2 両組成×3 編成)新造します。



3300 系

(2) 一部特別車特急車両 1200 系のリニューアル

- 2015 年度から実施している一部特別車特急車両 1200 系のリニューアルを本年度も 18 両(6 両組成×3 編成)で実施し、車内環境の刷新(トイレの洋式化・座席の更新など)および外観デザインの変更を実施します。



1200 系



1200 系(内装)

(3) 主な駅改良工事

- 瀬戸線 尼ヶ坂駅(名古屋市北区大杉一丁目 20 番 2 号)、小牧線 小牧原駅(小牧市大字小牧原新田 1820 番地 3)のバリアフリー化を実施します。
- 瀬戸線 旭前駅(尾張旭市旭前町五丁目 4 番 5 号)の北口駅舎新設と南口駅舎のバリアフリー化を実施します。
- 名古屋本線・常滑線 神宮前駅(名古屋市熱田区三本松町 18 番 1 号)において駅改良工事に着手し、曲線改良やホーム改良工事を実施します。
- 三河線 碧南駅(碧南市中町五丁目 48 番)の駅舎建て替えを実施します。

(4) 自動改札機の IC カード対応化

- お客さまの利便性向上のため、23 駅の IC カード非対応の自動改札機(41 台)で、manaca など IC カードをご利用いただけるよう改良します。

(5) 旅客案内設備更新

- 豊川線 豊川稲荷駅に行先案内表示器を新設するほか、河和線 河和駅の行先案内表示器の更新を行います。

開発事業 [5,845 百万円]

- 名古屋本線 堀田駅前に meLiV ブランド 3 棟目の賃貸マンションとなる「meLiV 堀田」を建設するほか、当社沿線地域における不動産の開発や取得などを進めます。
- 中部国際空港セントレアホテルにおいて、2018 年秋の開業を予定する新棟を建設します。
- 主要駅ビルなどを中心に既存の保有施設（沿線の商業施設・テナントビルなど）の改修や設備更新を実施します。



賃貸マンション meLiV 堀田(イメージ)



セントレアホテル新棟(イメージ)

その他 [1,426 百万円]

- 名駅再開発の具体化に向けた計画の推進を図ります。
- IT 機器・システム更新などを図ります。

※名古屋鉄道を含む 2017 年度の名鉄グループ設備投資計画額は、51,972 百万円。

以 上